

平成25年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 委嘱状・任命状交付
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員等紹介
- 5 議 事
 - (1) 平成24年度 考古博物館事業実績について
 - (2) 平成25年度 考古博物館経過・予定事業について
 - (3) 考古博物館利用状況について
 - (4) 考古博物館基本理念について
 - (5) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

平成25年7月5日 (金)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成24年度 考古博物館事業実績について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	3
3 イベント	5
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ.....	9
5 古代衣装貸し出し.....	9
6 ボランティアガイドの実施	9
◇ 平成25年度 考古博物館経過・予定事業について	
1 展示活動	11
2 学習会・講座など	12
3 イベント	14
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ.....	16
5 古代衣装貸し出し.....	16
6 ボランティアガイドの実施	16
◇ 考古博物館の利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	18
(2) 特別展観覧者数	19
(3) 学校関係利用状況	20
(4) 総利用者数	21
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	22
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	23

【別添資料】

◇ 「山梨県立考古博物館基本理念」の策定について	
--------------------------	--

◇ 平成24年度考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第30回特別展

テーマ：『インカ帝国展～マチュピチュ「発見」100年～』

入館者 64,865人

会 期：平成24年9月18日（火）～11月14日（水） 50日間（月曜日休館）

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：インカ帝国は、15～16世紀初頭、南アメリカのペルー、ボリビア、エクアドルにかけて成立し、最盛期には80の民族と1,600万人の人口をかかえた連邦国家とされる。巨大な石の建築と精密な石の加工などの技術、優れた土器や織物などの工芸品、ミイラなどの信仰、インカ道を含めたすぐれた統治システムなどが知られる。なかでも空中都市「マチュピチュ」は世界遺産であり、本遺跡を取り上げた展覧会は日本初である。考古博物館30周年を記念して、海外の優れた考古資料についての学習の機会を提供するとともに、世界遺産への関心を高め、登録にむけての理解を得る機会とする。

(2) 企画展

① 春季企画展『躍動の5世紀～古墳時代中期の山梨』 入館者 7,701人

会 期：4月28日（土）～7月1日（日）

開催日数 57日

会 場：考古博物館特別展示室

概 要：古墳時代中期（5世紀）は、倭の5王の活躍などヤマト王権の統制力が強大化するなかで、山梨県内では古墳が小型化するものの、副葬品は武具・馬具などの逸品が多く出土する。こうした状況について当館所蔵品を中心に展示する。

② 夏季企画展『土偶のねがい～縄文の母たちからのメッセージ』

同時開催『富士山への祈り』

入館者 5,101人

会 期：7月21日（土）～8月31日（金）

開催日数 37日

会 場：考古博物館特別展示室

概 要：全国的にもトップレベルの出土数をほこる縄文時代中期の土偶を中心に展示し、縄文人の精神生活について考える機会とする。また、世界文化遺産候補として関心が高まる富士山関連の最新の発掘調査の成果を同時に展示した。

③ 冬季企画展『甲州市内の出土品Ⅱ』

入館者数 726人

会 期：12月8日（土）～平成25年1月27日（日）

開催日数 36日

会 場：考古博物館特別展示室

概 要：甲州市教育委員会が実施した発掘調査の出土品を展示する。今回は、2回目で、宮の上遺跡の縄文時代資料などの発掘品を中心とする。

④ ひらけ玉手箱『よみがえる鯨』（共催：山梨県埋蔵文化財センター）

- 入館者 4,697人
開催日数 34日
- 会期：7月3日(火)～8月10日(金)
会場：考古博物館エントランス
概要：甲府城鉄門の屋根に設置予定の復元鯨瓦を、設置前に展示しておひろめし、合わせてモデルとなった鯨瓦を展示した。
- ⑤ 山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター創立30周年記念
『30年のあゆみ』
会期：11月20日(火)～12月2日(日)
会場：考古博物館特別展示室
概要：山梨県立考古博物館と山梨県埋蔵文化財センターの設立30周年を記念し、これまでのあゆみを振り返り、年表や写真、ポスターなどのパネルを展示。
入館者 1,090人
開催日数 12日
- ⑥ 『新年干支展』
会期：1月2日(月)～1月27日(日)
会場：考古博物館エントランスホール
概要：平成25年の干支「巳」をテーマに、へビに関する出土品を収蔵品の中から集めミニ展示した。
入館者数 491人
開催日数 24日
- ⑦ 第10回『わたしたちの研究室』
会期：2月5日(火)～3月3日(日)
会場：考古博物館特別展示室
概要：小中学生を対象に考古学や歴史に関連した個人・団体の研究を、平成24年9～11月に募集した第10回『わたしたちの研究室』について、表彰作品をはじめ、応募作品小学校個人3点、中学校個人276点、団体研究3点をすべて展示した。
入館者数 979人
開催日数 24日
- ⑧ 『富士山の日 ミニ展示』
会期：2月14日(木)～2月28日(水)
会場：考古博物館エントランスホール
概要：2月23日の富士山の日に合わせて、前後1週間程度の期間、当館が所蔵する富士山信仰関連の出土品や調査成果をミニ展示した。
入館者数 666人
開催日数 14日
- ⑨ 風土記の丘望見展
会期：2月5日(水)～3月20日(水)
会場：風土記の丘研修センターエントランスホール
概要：『再現！古代のガラス玉工房』をテーマに、平成24年度の体験学習で弥生時代から古墳時代のガラス玉の製作再現に取り組んだ成果を展示した。
入館者数 262人
開催日数 38日
- ⑩ 『山梨の遺跡展2013』
会期：3月9日(土)～4月7日(日)
入館者数 879人
開催日数 25日

会 場：考古博物館特別展示室

共 催：山梨県埋蔵文化財センター

概 要：平成24年度の山梨県埋蔵文化財センターの発掘成果を中心に、話題となった市町村教育委員会の発掘成果も加えて出土品や写真・解説パネル等を展示した。

2 学習会・講座など

(1) チャレンジ博物館

第1回	5月20日(日)	『弥生時代の矢じりをつくろう』	参加者	25人
第2回	6月17日(日)	『縄文時代の布を編んでみよう』	参加者	9人
第3回	7月1日(日)	『縄文時代のかごをつくろう』	参加者	16人
第4回	7月15・22・8月5日	『縄文土器をつくろう』	参加者	90人
第5回	8月19日(日)	『土偶をつくろう』	参加者	27人
第6回	9月23日(日)	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』	参加者	17人
第7回	10月7日(日)	『縄文土器をつくろう』	参加者	14人
第8回	10月28日(日)	『森の木の実で染めてみよう』	参加者	17人
第9回	11月11日(日)	インカ帝国展関連企画 『インカのケロをつくろう』	参加者	18人
第10回	12月2日(日)	『千支の土鈴をつくろう』	参加者	24人
第11回	1月13日(日)	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』	参加者	10人
第12回	2月10日(日)	『古墳時代のはにわをつくろう』	参加者	9人

(2) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

第1回	4月14日(土)	『トンボ玉作り1』	参加者	6人
第2回	5月13・19日(土)	『青銅器作り1』	参加者	10人
第3回	6月2・9・23日(土)	『縄文土器作り1』	参加者	12人
第4回	7月7日(土)	『草木染め1』	参加者	11人
第5回	8月4日(土)	『トンボ玉作り2』	参加者	5人

第6回	9月1・9日(土)	『青銅器作り2』	参加者	7人
第7回	10月13日(土)	インカ帝国展関連企画(1) 『インカの赤を染める1』	参加者	12人
第8回	11月4日(土)	インカ帝国展関連企画(2) 『インカの赤を染める2』	参加者	11人
第9回	12月8日(土)	『勾玉作り』	参加者	11人
第10回	1月26・27日(土・日)	『草木染め4』	参加者	14人
第11回	2月2・9・23日(土)	『縄文土器作り2』	参加者	30人
第12回	3月16・24日(土)	『青銅器作り3』	参加者	10人

(3) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

第52回	4月22日(日)	『国宝清白寺から窪八幡神社』 講師：山梨市教育委員会 三澤 達也氏	参加者	36人
第53回	6月17日(日)	『中央市小井川遺跡と周辺の文化財』 講師：中央市教育委員会 今村 直樹氏	参加者	32人
第54回	8月5日(日)	『大月市子の神古墳と周辺の文化財』 講師：大月市教育委員会 杉本 正文氏	参加者	23人
第55回	10月21日(日)	『甲斐銚子塚古墳から右左口宿』 講師：山梨県考古学協会 山崎 金夫氏	参加者	27人
第56回	2月24日(日)	『加牟那塚、穴塚周辺の古墳群』国民文化祭協賛 講師：甲府市教育委員会 平塚 洋一氏	参加者	33人

(4) 考古学講座

第1回	6月10日(日)	『旧石器時代編 ～ここまでわかった！旧石器時代の環境と暮らし～』 当館 保坂 康夫	受講者	37人
第2回	7月1日(日)	『縄文時代編～富士山の火山災害と縄文の人々～』 富士吉田市教育委員会 篠原 武氏	受講者	56人
第3回	7月22日(日)	『弥生時代編～農耕文化の到来と暮らしの変化～』 大月市教育委員会 稲垣 自由氏	受講者	35人

第4回 8月19日(日) 『古墳時代編～カイノクニ(甲斐国)に生きる～』
甲州市教育委員会 入江 俊行氏
参加者 34人

第5回 1月12日(土) 冬季企画展『甲州市の出土品Ⅱ』講座
『昔むかしの甲州市』
甲州市教育委員会 飯島 泉氏
参加者 29人

3 イベント

(1) 第24回 風土記の丘こどもまつり 参加者7,121人

5月4日(金)・5日(土) 風土記の丘研修センター内と前庭など

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

5月3日(木)6日(日)にプレ・ポストイベント 古代の火起こし
参加者 18人

(2) 考古博物館の日

第4土曜日を中心に「考古博物館の日」と銘打ちエントランスホールでミニイベントを実施。

第1回 4月28日(土) 『古代衣装を着よう!土器の拓本をとろう!』
参加者 39人

古墳時代の巫女(みこ)や女官(にょかん)、官吏(かんり)などの復元衣服を着て当時の生活を振り返る。また、縄文土器片の文様を写し取る拓本体験を合わせて実施。拓本カードにしてお持ち帰り。

第2回 5月26日(土) 『古代米を炊いてみよう!』
参加者 40人

煮炊きの道具である弥生時代の土器のレプリカを使い、古代米とされる黒米を混ぜたお米を実際に炊いてみる体験イベント。

第3回 6月23日(土) 『狩猟体験をしよう!石器で切ってみよう!』
参加者 63人

動物(パネル)を狙って弓矢を打つ狩猟体験や、黒曜石のナイフを使って野菜を切る体験イベント。

第4回 7月28日(土) 『土偶にさわろう、土偶を作ろう
～考古博物館まるごと探検隊!～』
参加者 52人

考古博物館収蔵庫を見学し、普段見ることのできない収蔵品にふれあったあと、常設展・企画展を見学、さらにオープン粘土で土偶作りに挑戦。

第5回 1月26日(土) 「考古博物館でお宝発見!!」

参加者 42人

考古博物館収蔵庫を見学し、普段見ることのできない収蔵品にふれあったあと、常設展・企画展を見学、さらにオープン粘土で土偶作りに挑戦。

第6回 2月16日(土) 「考古博冬まつり」

参加者 246人

あなたも縄文ハンター～弓矢で狩猟体験～、どんぐり割りにチャレンジ!、ねんどで縄文ストラップ作り、草木染めでエコバック!、本物の土器にさわってみよう!、縄文スープ・古代米を食べてみよう!、プラ板で土偶ストラップ作り、イノシシ・ウサギ・キツネの毛ってどんな感じ?といった8つのブースで体験学習を実施した。

(3) 夏休みフリーパスポートに関するイベント

パスポートでの入館者で希望者に縄文土器の拓本体験とトンボ玉作りなどを実施。

- | | |
|--------------------|----------|
| ① 『土器の拓本カードをつくろう!』 | 参加者 427人 |
| ② 『トンボ玉をつくろう!』 | 参加者 64人 |
| ③ 『古代の火おこし!』 | 参加者 103人 |
| ④ 『勾玉をつくろう!』 | 参加者 291人 |
| ⑤ 『青銅鏡をつくろう!』 | 参加者 11人 |

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。考古博では縄文土器拓本体験のコーナーを出店。

7月16日(月) アイメッセ山梨(甲府市)

参加者 93人

(5) 縄文王国山梨関連イベント

巡回イベント「伝承館で夏まつり」

8月19日(日) 南アルプス市ふるさと伝承館

参加者 226人

火起こし、どんぐり染めでエコバックづくり、縄文編みで麻コースターづくり、土偶づくり、縄文服を着て記念撮影、弓矢で狩猟体験、石皿で木の実すり、縄文文様カードづくり、焼印でコースターづくり、縄文土器の立体パズルなどを実施。

講演会「縄文人の世界観」一目でみる景観&心でみる景観

期日: 12月23日(日)

参加者 80人

会場: 北杜市考古資料館(日没観察: 金生遺跡(国指定史跡)現地)

内容:

- | | | |
|------------------|--------------|-------|
| 講演1 「先史の太陽と月と北斗」 | 元井戸尻考古館館長 | 小林公明氏 |
| 講演2 「大湯環状列石と景観」 | 大湯環状列石館 | 藤井安正氏 |
| 事前解説「金生遺跡の景観解説」 | 山梨県埋蔵文化財センター | 今福利恵氏 |
| 講演3 「金生遺跡での日没観察」 | 山梨県埋蔵文化財センター | 今福利恵氏 |

講演会「縄文人の世界観」—縄文土器を読み解く—

期日：2月11日（月）建国記念の日

参加者 100人

会場：風土記の丘研修センター

内容：

- 講演1「人面、イノシシ、ヘビ、カエル」 甲州市文化財指導監 小野正文氏
講演2「ファインダーから覗いた縄文土器」 写真家 小川忠博氏
講演3「土器づくりは文様に意味を込めるのか？」 同志社女子大学 大西秀之氏

(6) 特別展関連イベント

① 事前講演会

8月26日（日） 「世界遺産”マチュ・ピチュの歴史保護区”を訪ねて」

山梨県教育庁学術文化財課 森原 廣明氏

受講者 66人

② 記念講演会

10月28日（日） 「DNAが語るインカ帝国への道」

国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ長

篠田 謙一先生

「石とインカ」

東京大学大学院総合文化研究科准教授

網野 徹哉先生

受講者 103人

③ 記念コンサート「アンデスの調べ」

会期中の毎週日曜日に1日2回（10:30～、13:30～）、県内在住の音楽グループ4団体による南米関連の音楽会を、考古博物館正面ピロティにて開催。

9月23日 「長谷部ピアノオカリナ教室・メイプル」

雨天中止

9月30日 「グループ・モンターニャス」

参加者 140人

10月 7日 「ソル・ナシエンテ」

参加者 140人

10月14日 「長谷部ピアノオカリナ教室・メイプル」

参加者 140人

10月21日 「Soroche（ソローチェ）」

参加者 140人

10月28日 「Soroche（ソローチェ）」

参加者 140人

11月 4日 「Soroche（ソローチェ）」

参加者 140人

11月11日 「ソル・ナシエンテ」

参加者 140人

「グループ・モンターニャス」

南米の民族音楽であるフォルクローレを演奏するグループ。特にボリビア、ペルー、アルゼンチン等の音楽を現地の楽器を用いて演奏。

「ソル・ナシエンテ」

フォルクローレの同好会。尺八に似た縦笛・ケーナをはじめとする様々な民族楽器を演奏。

「Soroche（ソローチェ）」

県内で最古のフォルクローレバンドで、南米ボリビアのアンデス地方の現代の音楽を中心に独自のアレンジを加えて演奏する。ライブハウスなどで活動。

「長谷部ピアノオカリナ教室・メイプル」

5つの葉で出来ている楓の葉のように、5団体で合同演奏。病院・介護施設・サロン等に出向いて演奏活動。

(7) 県民の日イベント

「考古博物館で古代の体験をしてみよう！」（共催：山梨県埋蔵文化財センター）

参加者 706人

火おこし体験、弓矢体験、本物の土器にさわってみよう、拓本体験、プラ板ストラップをつくろう、古墳と展示室のウォークラリーを実施。ウォークラリー参加者にクリアファイルやクルミ、参加者全員に屋上緑化で収穫した焼きイモをふるまった。

(8) 古代のもちつき

正月2・3日を開館し、黒米、赤米などの古代米や、キビ、アワなどを入れた餅を1臼ずつ、弥生時代の出土品をモデルとした臼と竪杵を使ったもちつき体験を、午前・午後1回ずつ、計4回開催した。

1月2・3日（日・月）

(9) わたしたちの研究室表彰式・発表会

小中学生を対象に考古学や歴史に関連した個人・団体の研究を、平成24年9～11月に募集した第10回『わたしたちの研究室』について、小学校個人3点、中学校個人276点、団体研究3点中から、小学校優秀賞作品2点、中学校優秀賞1点、中学校奨励賞1点、団体努力賞2点、団体奨励賞1点を表彰した。最優秀賞は該当がなかった。

2月3日（日）

(10) その他のイベント（共催事業）

① 夏休みオカリナコンサート（共催：長谷部ピアノオカリナ教室・メイプル）

期日：8月18日（土）

会場：考古博物館エントランスホール

参加者 23人

土笛作り（同時開催）

会場：考古博物館学習コーナー

参加者 8人

② 2012風土記の丘・曾根丘陵公園「秋のふれあい祭り」

（共催：富士観光開発・富士グリーンテックグループ）

期日：10月14日（日）

参加者 706人

会場：風土記の丘・曾根丘陵公園

内容：うさぎやポニー等と触れ合う「いちにちどうぶつむら」、「ディスクドッグショー」の他、「クラフト体験」や「勾玉作り」を無料体験。

③ 「ひらけ玉手箱甲府城跡」（共催：山梨県埋蔵文化財センター）

期日：11月18日（日）

参加者 1,600人

会場：甲府城跡（舞鶴城公園）

内容：古代米の餅つき、縄文クッキー、磨製石斧木こり体験、古代の火おこし体験、鉄門の壁を作った左官職人の指導による壁塗り体験、石垣補修工事を手がけた石工職人で行う大きな石を動かす石ひき体験などを実施。

④ 第3回 落ち葉で焼きいも！

(共催：富士観光開発・富士グリーンテックグループ)

期日：12月2日(日)

参加者 156人

会場：風土記の丘・曾根丘陵公園

内容：考古博物館見学の後、公園内の落ち葉拾いに協力していただき、その後、落ち葉で焼いた焼き芋を食べた。

(11) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業；常時対応)

① 勾玉作り

参加者 2,709人

② 火起こし体験

参加者 6,354人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れている。

① 職場体験・インターンシップ

13中学28人、2高校3人、

8月2・3日

甲府南中1名、甲府東中4名、勝山中4名

8月4日

竜王中1名

8月8・9・10日

双葉中2名、甲府北中2名、浅川中1名(9・10日)、
河口湖北中1名、附属中1名、市川高2名(8日)

8月22・23・24日

城南中4名、富竹中3名(22・23日)、
甲府西高(24日)

10月18日

押原中1名

10月26日

敷島中3名

② 学芸員実習

8月23日(木)～9月2日(日)10日間 5名

中央大学1名、明治大学1名、静岡大学1名、駒沢大学1名、大正大学1名

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

5月29日(火)～6月19日(火) 竜王西小学校

7月18日(水)～7月26日(木) 富士見小学校学童クラブ

11月5日(火)～12月17日(火) 四日市市教育委員会

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。平成24年度総会で新たに7名が認定され、総勢15名で活動。

4月－ 6日間(延べ 8名；開館日数26日)

5月－ 15日間(延べ19名；開館日数27日)

6月－ 16日間(延べ22名；開館日数26日)

7月－ 14日間(延べ18名；開館日数26日)

8月ー 15日間 (延べ18名;開館日数28日)
9月ー 4日間 (延べ 4名;開館日数20日)
10月ー 1日間 (延べ 1名;開館日数26日)
11月ー 5日間 (延べ 5名;開館日数22日)
12月ー 5日間 (延べ 9名;開館日数18日)
1月ー 9日間 (延べ16名;開館日数27日)
2月ー 5日間 (延べ 6名;開館日数24日)
3月ー 5日間 (延べ 6名;開館日数26日)

※インカ帝国展会期中の9～11月は、協力員は連日10人前後の出労で運営に協力いただき、ボランティアガイドはほとんど休止した。

◇ 平成25年度考古博物館経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第31回特別展

テーマ：『食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流』

会期：平成25年9月25日（水）～11月24日（日） 49日間（月曜日休館）

会場：山梨県立考古博物館

概要：現在の日本の食糧自給率は約40%といわれているが、一万年以上前に始まった縄文時代から、百数十年前に終わった江戸時代までは100%の自給率であった。実は、今日まで続く日本の食文化の源流は、その縄文時代にまで遡ると考えられる。「自然の中から食料を得る」という生活スタイルがその基本であった。そのスタイルは「自然と共に生きる」という日本の精神文化とも重なるものである。今回の展示は、日本の食文化の源流である縄文時代の食生活と精神文化のあり方を、関連する考古資料から振り返る。

(2) 企画展

① 春季企画展『武田と城と城下町』

入館者：7,060人

会期：4月28日（土）～6月30日（日）

開催日数：56日

会場：考古博物館多目的室

概要：信虎・信玄・勝頼の武田三代が暮らした、武田氏館跡（国指定史跡）をはじめ、新府城跡など、戦国時代を雄壮に駆けぬけた武田一族とその家臣たちの生活を、発掘調査された出土品展示で考察した。

② 夏季企画展『日本一の富士山展』

会期：12月14日（土）～平成25年1月27日（日）

会場：考古博物館多目的室

概要：神聖で荘厳な姿の富士山は、富士山を居所とする神仏の靈力を獲得し、自らの擬死再生を求めるとい独特の性質を持つ富士山信仰を育んできた。本展では、発掘調査で明らかとなった太古の人々のくらしと富士山に対する信仰の姿を紹介する。

③ 冬季企画展『富士北麓の出土品』

会期：12月14日（土）～平成25年1月27日（日）

会場：考古博物館多目的室

④ 新指定展 国指定文化財『酒香場遺跡』

入館者：8,306人

会期：3月1日（水）～6月30日（金）

開催日数：105日

会場：考古博物館エントランスホール

概要：新たに国指定重要文化財に指定された北杜市の酒香場遺跡の土器及び石器を展示公開した。

⑤ 新指定展 県指定文化財『海道前C遺跡』

入館者：4,998人
開催日数：46日
会期：4月10日(水)～5月31日(金)
会場：考古博物館エントランスホール
概要：新たに県指定文化財に指定された北杜市の海道前C遺跡の土器及び石器を展示公開した。

⑥ 夏季企画展『日本一の富士山展』プレミニ展示

入館者：1,164人
(6月末現在)
開催日数：21日
会期：6月19日(水)～7月12日(金)
会場：考古博物館エントランスホール
概要：今年は史跡富士山から世界文化遺産への飛躍の年であり、夏季企画展「日本一の富士山展」(7/13～9/1開催)を前に、富士山の信仰に関する発掘調査の出土品を展示した。

⑦ 『新年干支展』

会期：1月2日(月)～2月2日(日)
会場：考古博物館エントランスホール

⑧ 第11回『わたしたちの研究室』

会期：2月11日(火)～3月2日(日)
会場：考古博物館多目的室

⑨ 風土記の丘望見展 (内容未定)

会期：2月1日(土)～3月23日(日)
会場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑩ 『山梨の遺跡展2014』

会期：3月8日(土)～4月6日(日)
会場：考古博物館多目的室
共催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は、昨年度からの継続事業として『考古学が語る、暮らし・環境・自然災害』をテーマとし、一昨年の東日本大震災以後、関心が高まる自然災害や環境の問題について、考古学的側面から最新の研究状況を講演いただく。

第1回 6月9日(日) 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害1

奈良・平安時代編 「富士山の火山災害と人々の暮らし

～最新の発掘成果に見る災害の痕跡～

講師：杉本 悠樹氏 (富士河口湖町教育委員会)

受講者：51人

第2回 6月30日(日) 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害2

中世編 「地震災害の痕跡と水害との戦い

～低地部の液状化現象と東日本大震災の復興現場の現状～

講師：保坂 和博氏（宮城県教育庁）

受講者：55人

第3回 7月21日(日) 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害3

近世編

「水害と水防の歴史

～武田の時代から続く先進的治水対策の継承～

講師：斎藤 秀樹氏（南アルプス市教育委員会）

第4回 8月28日(日) 考古学が語る 暮らし・環境・自然災害4

近代から現代編 「災害の教訓から身を守る

～最近の活断層研究と考古学の融合～

講師：興水 達司氏（山梨県立大学）

(2) チャレンジ博物館

小中学生を対象に、学校の休業日である土曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよろこびを経験できる企画。

第1回 5月26日(日) 『大きな勾玉をつくろう』

参加者：24人

第2回 6月16日(日) 『縄文時代の布を編んでみよう』

参加者：9人

第3回 6月30日(日) 『縄文時代のアクセサリーをつくろう』

参加者：25人

第4回 7月14・21日、8月4日(日) 『縄文土器をつくろう』

第5回 8月18日(日) 『縄文時代のかごをつくろう』

第6回 9月8日(日) 『弥生時代の矢じりをつくろう』

第7回 10月20日(日) 『縄文土器をつくろう』

第8回 11月17日(日) 『森の草木で染めてみよう』

第9回 12月8日(日) 『干支の土鈴をつくろう』

第10回 1月12日(日) 『土偶をつくろう』

第11回 2月16日(日) 『はにわをつくろう』

第12回 3月9日(日) 『縄文時代のアクセサリーをつくろう』

(3) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する。

第1回 4月13日(土) 『トンボ玉作り1』

参加者：5人

第2回 5月25日・6月1日(土) 『青銅器作り』

参加者：10人

第3回 6月8・15・29日(土) 『縄文土器作り』

参加者：27人

第4回 7月13日(土) 『草木染め』

第5回 8月10日(土) 『トンボ玉作り』

第6回 9月14日(土)・29日(日) 『青銅器作り』

第7回 10月6日(日) 『勾玉作り』

- 第8回 11月10日(日) 『トンボ玉作り』
 第9回 12月15日(日) 『勾玉作り』
 第10回 1月11・25日(土)・26日(日) 『草木染めと原始機織り』
 第11回 2月8・15日・3月1日(土) 『縄文土器作り』
 第12回 3月8日(土)・16日(日) 『青銅器作り』

(4) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

- 第57回 4月22日(日) 『信玄公の御館を訪ねる』
 講師：甲府観光ボランティアガイド 林 陽一郎氏
 参加者：50人
- 第58回 6月16日(日) 『北杜市の縄文のムラを訪ねる』
 講師：北杜市教育委員会 村松氏
 参加者：21人
- 第59回 8月4日(日) 『河口御師の里を訪ねる』
 第60回 10月20日(日) 『考古博物館周辺で縄文食を探す』

3 イベント

- (1) 第25回 風土記の丘こどもまつり 参加者：10,597人
 5月5日(日)・6日(月) 風土記の丘研修センター内と前庭など

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

(2) 考古博物館の日

第4土曜日を中心に「考古博物館の日」と銘打ちエントランスホールでミニイベントを実施。

- 第1回 4月27日(土) 『甲冑を着て戦国武将に変身！&焼米を食べてみよう！』
 参加者：34人

春季企画展「武田と城と城下町～信玄たちが駆けぬけた時代～」(4月27日～6月30日開催)に関連して、復元衣装のよろいやかぶどを着て戦国武将になりきったり、焼米を食べる。甲冑を着た姿を写真に撮る。

- 第2回 5月25日(土) 『堅穴住居でおはなし会&どんぐりデザートを作ろう！食べよう！』

参加者：38人

考古博物館の隣にある復元堅穴住居(縄文時代)の前で絵本の読み聞かせや縄文人の主食の一つとである”どんぐり”を食べてみる。

- 第3回 6月22日(土) 『富士山のお札(ふだ)を刷ろう！』

参加者：41人

夏季企画展「日本一の富士山展」プレ展示（6月19日～7月12日開催）
に関連して、かつて富士講信者の宿坊を営んでいた御師（おし）が配っ
ていた「お札」を刷る体験をする。

第4回 7月27日（土）『考古学探検隊（夏）』

第5回 10月26日（土）『縄文カフェ開店！』

第6回 1月25日（土）『考古学探検隊（冬）』

(3) 夏休みフリーパスポートイベント

7月10日（水）～8月31日（土）

パスポートでの入館者で希望者に縄文土器の拓本体験やトンボ玉作りなどを実施。

- ① 『土器の拓本をつくろう！』
- ② 『トンボ玉をつくろう！』
- ③ 『古代の火おこしにチャレンジしよう！』
- ④ 『勾玉をつくろう！』
- ⑤ 『青銅鏡をつくろう！』

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月15日（月） アイメッセ山梨（甲府市）

(5) 縄文王国山梨関連イベント

巡回イベント

南アルプス市ふるさと伝承館 8月

北杜市考古資料館 12月

さらに、縄文王国講座、巡回展などを予定

(6) 特別展関連イベント

① 9月1日（日） 特別展事前講座

② 記念講演（タイトルはすべて仮称）

第1回 10月 6日（日） 「縄文の植物食」

国立歴史民俗博物館教授 西本豊弘

第2回 10月13日（日） 「木製具からみた縄文の食文化」

首都大学東京教授 山田昌久

第3回 10月27日（日） 「貝塚から見た縄文の漁撈・狩猟」

県立博物館学芸員 植月学

③ 11月9日（土） 縄文食イベント

(7) 古代のもちつき

1月2・3日（木・金）

(8) 第11回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月9日（日）

(9) その他のイベント

11月20日（水） 県民の日イベント

1月26日（日） 冬季企画展関連講座

3月 1日(土) 考古博物館春まつり

(10) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業；常時対応）
（6月末現在）

- | | |
|----------|-------------|
| ① 勾玉作り | 参加者：1, 636人 |
| ② 火起こし体験 | 参加者：2, 904人 |

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れる。

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

4月25日(木)～5月15日(水)	富士河口湖町立小立小学校
5月17日(金)～5月24日(金)	県立甲府支援学校

合計：2件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。平成25年度総会で新たに3名が認定され、総勢15名で活動。

4月	2日間(延べ 5名；開館日数26日)
5月	12日間(延べ16名；開館日数27日)
6月	7日間(延べ11名；開館日数26日)

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

考古博物館觀覽者數 (常設展・特別展)

平成25年6月末日現在 (單位:人)

年度	開館日數	常 設 展											特別展	合計 (常設・特別)	累 計					
		個 人		団 体		割引(外券・宿泊等)		旅行社・一般		小・中・高		年間パスポート				高齡者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計
大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高	大學・一般	小・中・高					
57	115	12,017	3,412	6,885	538											4,130	3,705	30,687	30,687	30,687
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742											8,744	3,981	48,795	8,395	57,190
59	298	14,282	4,988	6,329	3,276											9,327	2,540	40,722	5,289	45,961
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116											7,533	2,660	35,628	4,015	39,643
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651											7,471	3,793	38,106	10,014	48,120
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951											8,957	2,558	38,880	3,517	42,397
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667											7,613	3,916	39,554	5,123	44,677
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332											7,147	2,982	42,682	5,625	48,307
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700											10,504	2,807	47,602	6,597	54,199
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541											8,975	3,684	44,935	5,789	50,724
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046											6,807	3,610	40,795	6,174	46,969
5	289	13,272	3,865	3,686	8,211											8,164	3,492	40,640	4,591	45,231
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216								48			7,388	3,708	35,036	6,286	41,322
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076								11,230	4,422		6,845	3,573	47,962	90,082	138,044
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089								3,455	1,028		4,908	2,910	30,950	18,483	49,433
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594								2,633	443		4,125	2,442	25,575	5,195	30,770
10	290	7,057	1,566	556	5,410								3,596	446		4,166	2,283	25,080	13,165	38,245
11	288	6,283	1,705	521	4,208								2,339	332		4,409	1,839	21,636	6,812	28,448
12	288	5,616	1,459	797	2,958								3,201	267		3,919	1,877	20,094	9,227	29,321
13	292	5,717	1,560	800	2,271								2,517	250		3,683	1,191	17,989	6,035	24,024
14	289	5,423	1,398	396	2,598								2,670	569		3,397	1,428	17,879	6,373	24,252
15	290	4,444	1,312	479	2,379								2,887	571		3,465	1,065	16,602	8,127	24,729
16	298	4,377	1,141	557	1,822								2,397	331		3,519	1,202	15,346	5,064	20,410
17	296	4,432	1,105	307	2,874								3,265	440		3,093	1,039	16,555	5,154	21,709
18	300	4,876	1,222	326	3,543			5					2,844	537		3,145	1,863	18,428	4,613	23,041
19	301	17,512	7,004	346	3,482			30					11,546	313		4,747	2,070	50,887	51,241	102,128
20	298	4,548	2,187	229	4,276			158					2,944	525		3,919	2,268	22,493	6,549	29,042
21	290	4,537	2,524	212	3,854			69					3,049	354		3,553	2,429	21,847	5,068	26,915
22	300	3,858	1,958	305	4,128			68					2,562	396		3,798	2,433	20,570	4,329	24,899
23	301	3,768	2,073	202	5,167			64					2,948	837		4,008	3,022	23,659	6,773	30,432
24	296	4,360	6,884	85	5,056			618					21,177	1,697		3,699	3,055	64,356	64,865	129,221
25	79	1,013	223	7	2,386			14					1,078	200		1,626	979	7,629	7,629	7,629
計	9,042	308,640	99,582	75,590	136,158			21,161					88,386	16,784		176,784	82,404	1,009,599	388,520	1,261,269

特別展観覧者数

平成25年6月末日現在 (単位:人)

年度	個人		団体		新刊制度(特券・宿泊券)		前売券	旅行社クーポン	年間バスポート	高齢者身障者	土曜日(小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日平均	内容
	大学・一般小・中・高	723	大学・一般小・中・高	215	大学・一般小・中・高	大学・一般小・中・高										
58	2,807	723	1,405	215								1,800	1,445	8,395	183	1 土偶
59	1,840	308	926	26								1,194	945	5,239	150	2 縄文時代の酒造具
60	1,382	161	832	36								785	839	4,015	109	3 山梨の中世陶磁
61	3,232	520	1,065	8								2,585	2,604	10,014	179	4 古代甲斐国と畿内王権
62	1,461	274	317	28								571	866	3,517	121	5 古代官道と甲斐の文化
63	1,924	242	359	24								1,008	1,566	5,123	183	6 古代の装身具
1	1,098	264	616	316								2,522	809	5,625	181	7 一粒の初展
2	1,503	242	448	81								3,549	774	6,597	183	8 古墳時代が聞こえる
3	1,100	199	350	3								3,318	819	5,789	161	9 縄文土器その心象世界
4	2,263	344	414	115								1,903	1,135	6,174	172	10 天下人の時代
5	840	101	231									2,446	973	4,591	131	11 山梨の経塚
6	2,414	534	96									1,947	1,295	6,286	175	12 古墳時代の甲冑
7	55,623	9,554	1,943	576								4,273	4,303	90,082	2,047	13 黄金の都シカク発掘展
8	7,999	1,432	259	219						10,045	3,765	608	420	14,059	439	- ネアンデルタール人の復活展
9	1,268	178	92							982	608	2,140	2,178	4,424	233	14 新発見者古運報展
10	1,683	167	189							583	125	737	1,770	5,195	157	15 韓国・忠清北道の古代文化展
11	1,985	394	166	457						587	62	1,948	2,633	13,165	299	16 遙かなるエジプト展
12	2,842	383	179	173						1,711	208	1,634	1,478	6,812	175	17 縄文の旅
13	1,555	309	205	205						611	87	1,126	2,882	9,227	237	18 中国四川省古代文物展
14	1,884	449	274	89						1,548	94	1,913	1,035	6,035	137	19 黄金の輝き
15	1,965	133	126							721	92	1,423	1,375	6,373	168	20 技と美の誕生
16	1,092	116	285	14						737	142	2,227	2,274	8,127	214	21 大トルコ展
17	942	167	206	234						1,257	145	2,227	1,156	5,064	110	22 縄文の女神展
18	993	191	115	42						615	81	1,745	863	5,154	89	23 山の民と海の民
19	12,958	2,908	498	355						828	109	1,805	812	4,613	90	24 甲府盆地から見たヤマト
20	647	428	164	592						802	83	1,546	729	51,241	985	25 世界遺産ナスカ展
21	605	420	39	351						9,468	2,507	2,035	905	6,549	119	26 埋められた財宝
22	453	236	40	390						874	90	1,628	1,128	5,068	99	27 卑弥呼時代の黄泉世界
23	810	338	92	1,124						667	68	748	751	4,329	85	28 発掘された女性の系譜
24	12,437	4,782	193	999						652	44	961	1,154	6,773	135	29 縄文土器名宝展
25										899	102	1,069	1,474	64,865	1,297	30 インカ帝国展
										18,095	1,309	1,474	2,404	#DIV/0!		31 美しいほうの縄文人

学校関係利用状況

平成25年6月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外										合計	
	小学校					中学校					小学校					中学校						
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	67	5,569	17	1,708	11	538	95	7,815	188	14,622				
5	89	6,450	11	1,352	2	322	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	196	15,919				
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398				
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094				
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476				
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823				
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550				
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545				
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771				
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904				
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959				
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859				
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239				
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832				
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558				
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370				
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152				
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464				
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141				
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624				
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808				
25	25	1,103	20	607	25	1,710	25	1,710	32	2,006	5	361			37	2,367	82	4,077				
計	1,413	81,305	284	11,702	82	3,460	1,779	96,467	1,033	73,855	205	18,411	49	3,452	1,287	95,718	3,066	192,185				

(参考) H24年6月末現在

26	1,059	11	439	37	1,498	34	2,509	8	756	42	3,265	79	4,763
----	-------	----	-----	----	-------	----	-------	---	-----	----	-------	----	-------

考古博物館 総利用者数

平成25年6月末現在 (単位:人)

項目	22年度	23年度	24年度	25年度	増減		事業内容
					対H23 6月末比	H21～23平均 6月末比	
常設展 観覧者数	20,570	23,659	64,356	7,629	△ 2.6%	△ 2.8%	
特別展 観覧者数	4,329	6,773	64,865				
企画展 観覧者数	14,657	15,708	23,007	15,853	112.4%	116.6%	春・夏・冬・四季企画展、新指定展、夏季企画展プレ展示、新年干支展、わたしたちの研究室(展示)、山梨の遺跡展
主催事業参加者数	14,871	21,764	25,677	7,808	23.4%	20.8%	
講座等	416	557	511	171			史跡文化財セミナー、考古学講座、特別展事前講座、特別展記念講演会
ものづくり教室	407	392	415	100			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,253	9,330	9,073	4,543			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、編布、青銅鑿等)
イベント等	4,387	10,028	13,542	104			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(7/10)、夏休みフリーパスポートイベント、縄文王国関連イベント、特別展関連イベント、奥底の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室表彰式・発表会、考古博春まつり 等
風土記の丘こどもまつり	1,408	1,457	2,136	2,890			(GW期間中2日間開催)
研修センター利用者数	2,050	2,043	1,530	510	※ 26.6%	※ 23.7%	
風土記の丘望見展観覧者数	648	362	262				(2月～3月開催)
施設利用	1,402	1,681	1,268	510			講堂、研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H22:1,794、H23:1,670、H24:1,996、H25:645
総利用者数	56,477	69,947	179,435	31,800	※ 44.0%	※ 43.8%	

※別掲としたテニスコート利用者数を含む増減

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十四年十月二十三日～平成二十六年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	堀内研司	社会教育関係 (富士吉田市教育委員会教育委員長)
委嘱	山梨県PTA協議会副会長	田中利江	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	小川はるみ	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	堀田一朗	学識経験者
委嘱	主婦	今福政江	公募
委嘱	主婦	杉野美幸	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	篠原春子	学校教育関係 (山梨市立三富小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	吉岡剛	学校教育関係 (県立吉田高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	堀之内睦男	学校教育関係 (甲府市立西中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会会長	佐久間豊人	学校教育関係 (県立増穂商業高等学校校長)

(平成二十五年七月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担当事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

「山梨県立考古博物館基本理念」の策定について

1 考古博物館設置当時の状況

昭和50年代、中央自動車道建設事業や圃場整備事業等に伴う発掘調査により、貴重な埋蔵文化財の発見が相次ぎ、この保存を求める強い世論があった。また昭和50年代後半に建設中であった甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園の一角から「上の平遺跡方形周溝墓群」が発見され、さらに県民の注目を集めることとなった。

こうした世論を背景に、埋蔵文化財の保護保全の拠点として、また甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園の中核施設及び山梨県の歴史を学べる社会教育施設として建設された。

2 考古博物館の設置目的

【考古博物館設置・管理条例第1条】

古代文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、考古博物館を設置する。

→ 本県の長い歴史を物語る各種の考古資料について、その収集、保管、展示、公開、調査研究、普及などの事業を行い、県民の考古学や歴史に関する知識や関心を深め、併せて教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。

3 考古博物館を取り巻く環境の変化

① 文化財指定品も含めた収蔵品の増加

開館して30年が経過し、併設する県埋蔵文化財センターによる数多くの遺跡発掘調査の結果、膨大な量の考古資料を保有することになった。近年は、それらの考古資料の中で優れた価値を有するものが次々に「国指定重要文化財」となり、それらの保管方法・展示方法を具体化していくことが急務となっている。

② 学校教育現場の変化

総合的な学習の時間の導入、新学習指導要領の改訂による確かな学力を確立するために必要な授業時間数の確保が開始されつつある。(必須教科の時間数の増加と総合的な学習の時間の削減)

③ 高齢化社会の進展

余暇時間の増大と高齢化に伴って、生涯学習機会への要請が高まっている。

④ 県立博物館の開館

【県立博物館設置・管理条例】

歴史、民俗等に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、博物館を設置する。

- 基本テーマである「山梨の自然と人」を活動の基本におき、山梨の豊かな自然と人々がどのように向き合ってきたのかという歴史を総合的に調査研究し、それらの成果をこれからの地域振興の重要な指針として提示できるような博物館を目指す。

- 基本的な性格

「歴史に重点を置いた博物館」、「参加体験・交流型博物館」、「ハブ博物館」、「成長する博物館」

→ 考古博物館は、県内の出土品を中心に展示、公開し、かつ県の歴史も学習できる場としての「考古の専門館」という機能が明確になった。また、実際に発掘調査を行う埋蔵文化財センターとの一体的な取組も今まで以上に必要になってきた。

- ⑤ 来館者ニーズ
単に知識を学ぶだけではなく、体験型学習を望むニーズが増大。
- ⑥ 外部評価の意見
 - ・ 周辺の古墳群・曾根丘陵公園などの一体となった区域の魅力について、更なるPRに努める必要がある。
 - ・ 古代史教育の拠点として博学連携に努め、県内全小学校が常設展の観覧や体験実習に参加するよう計画的な働きかけを行うべき。
 - ・ 公園と一体となった各種イベントの開催など、集客方法に一層のアイデアを出す必要がある。
- ⑦ 富士山世界遺産指定・大丸山古墳史跡指定・リニア中央新幹線建設による直近の駅建設等の新たな周辺環境の変化

4 考古博物館の活動状況（H25年度）

- ① 展示活動
特別展（1回）、企画展（10回）
- ② 学習会・講座
チャレンジ博物館（12回）、ものづくり教室（12回）、史跡文化財セミナー（4回）、考古学講座（4回）、特別展記念講演
- ③ イベント
風土記の丘こどもまつり、考古博物館の日、縄文王国山梨イベント、夏休み自由研究プロジェクト、夏休みフリーパスポートイベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室、原始・古代の技術体験学習、公園管理者との共催イベント
- ④ 小中学校、高校教育課程
- ⑤ 学芸員実習・職場体験・インターンシップ
- ⑥ 古代衣装貸し出し
- ⑦ ボランティアガイドの実施

5 考古博物館の持つ個性

- ① 中央自動車道・甲府南インターチェンジの正面に位置する。
- ② 豊かな自然環境に囲まれている。（風土記の丘曾根丘陵公園）
- ③ 最近県外からの来館者が増加傾向にある。
- ④ 国内で唯一、青銅鏡作り体験が常時受け入れ可能な博物館である。

6 考古博物館の目指すべき方向性の検討

より多くの県民、また、最近著しい増加傾向にある県外からの来館者も含め、その利用促進を図るため、来館者が考古博物館に何を望んでいるかを改めて認識するとともに、時代の変化も踏まえた考古博物館の活動指針として、「山梨県立考古博物館基本理念」を策定する。

山梨県立考古博物館の基本理念（案）

○設置目的（山梨県立考古博物館設置及び管理条例）

古代文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。

○目指すべき方向性

1 知識を深める考古博物館

生涯にわたり古代史や考古学に関する知識を深め、豊かな知性をはぐくむことができる考古博物館

2 楽しめる考古博物館

「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」の恵まれた自然の中で、大人から子どもまでが古代の技術や生活に親しみ、楽しむことができる考古博物館

3 新しさを発見できる考古博物館

山梨の歴史、文化、風土、自然等を再発見することができる考古博物館

4 意欲をかき立てられる考古博物館

考古学や古代史に対する探求心、研究心等の意欲をかき立てられる考古博物館

5 未来につなげる考古博物館

考古資料をより適切な環境で保管し、後世に伝えるとともに、古の文化を未来につなげることができる考古博物館

考古博物館基本理念と現在の活動状況

設置目的(設置条例)
 「古代の文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する」



目指すべき方向性(案)
 (キーワード)

- 1 知識・教養
- 2 親しみ・楽しみ
- 3 郷土の再発見
- 4 意欲の喚起
- 5 保存・継承

